

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
領域健康 health (physical and mental health)		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	必修	(教職課程必修(幼稚園教諭二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目、幼稚園教諭二種免許に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
<p>心身の健康に関する領域「健康」の意義を捉える。          子どもにとっての健康とはどのような状態を指すのか、また子どもの健康を支える為に保育者として何が必要かについてを理論的に学んでいくと同時に、自身の考えや解決策を明確に述べる事ができるよう、アクティブラーニングの手法も取り入れながら進めていく。</p>				
授業の目標				
<p>①心身の健康に関する領域「健康」の「ねらい」と「内容」を理解し、説明ができるようにする。          ②運動遊びや生活習慣の指導など、子どもの「健康」を保障するための具体的方法を学ぶ。          ③「日々の健康観察」の項目を述べる事ができるようにする。          ④子どもの安全についての理解を深めることで、安全に関する保育活動の配慮について述べる事ができるようにする。          ⑤基本的な生活習慣とは何かを具体的に述べる事ができるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>基本的には、パワーポイントを中心とした講義形式で行うが、「調べる・考える学習」を重視した授業展開として、発表やディスカッションも取り入れる。また、実際の事例を通して家庭における様々な問題とその解決方法を実践的に考えていけるよう進めていく。</p>				
学習の成果(学習成果)				
<p>①授業内容を踏まえた上で、日々の健康観察や安全に生活するための工夫、そして基本的な生活習慣の確立に向けて適切な計画立案や対応ができる。          ②幼児期における健康教育の必要性について多角的な視点から考え、子どもや保護者へ伝えていくことができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業概要(シラバス、授業の特徴、実習との関連、授業への取り組み方、課題について具体的に説明する)			
第2回目	保育における領域「健康」の位置付け 「健康の定義」			
第3回目	領域「健康」のねらいと内容についてー保育実践における具体例を踏まえてー			
第4回目	子どもの健康の考え方 愛着と基本的信頼感の形成			
第5回目	『保健への配慮と指導・援助』ー日々の健康観察、子どもたちの健康状態の把握ー			
第6回目	「安全の管理と指導・援助」ー安全管理の意義と目的ー			

第7回目	子どもの心・頭・体に関わる現状と課題① 体の側面から	
第8回目	子どもの心・頭・体に関わる現状と課題① 心・頭の側面から	
第9回目	「遊びと健康」－室内遊びと戸外遊びについて－	
第10回目	「健康にかかわる遊びと保育者の援助」－具体的事例を通して－	
第11回目	基本的生活習慣の指導・援助①－子どもにとっての生活習慣 現状と課題－	
第12回目	基本的生活習慣の指導・援助②－基本的生活習慣自立の為の指導・援助の在り方－	
第13回目	食育について－子どもの発達と食生活－	
第14回目	園外保育と健康	
第15回目	領域「健康」の目指すものの確認 これまでの振り返り	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、不明点は必ず調べること。 近くの公園やあそび場などを見に行き、現状を理解すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	30%	詳細に課題を探究し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細授業内で説明する)
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び資料等に書かれている範囲を超え、自己の考え方も示されている。(詳細は授業内で説明する)
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
演習保育内容健康 井狩芳子著(萌文書林) 幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示内閣府・文部科学省・厚生労働省)		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験(職種:プレイリーダー・研修講師、職歴:通算6年) ・意欲的、積極的に学習課題に取り組むこと。遅刻厳禁。		